

ことわざ(初級)プリント

月 日 名前 _____

問1 「猿も木から」に続く言葉はどれですか？

1. 落ちる 2. 登る 3. 転ぶ 4. 滑る

問2 「口は（ ）の元」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 怒り 2. 悩み 3. 失敗 4. 災い

問3 「一寸の虫にも」に続く言葉はどれですか？

1. 三分の心 2. 五分の魂 3. 五分の命 4. 三分の意地

問4 「急がば回れ」の意味はどれですか？

1. 急いでいるときは、一度立ち止まって深呼吸をするのがよい 2. 急いでいるときに限って、思わぬトラブルに巻き込まれるものだ 3. 急いでいるときこそ、近道を探して時間を短縮するべきだ 4. 急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い

問5 「良薬は口に」に続く言葉はどれですか？

1. まずし 2. つらし 3. 苦し 4. きびし

問6 「千里の道も」に続く言葉はどれですか？

1. 一歩ずつ 2. 一歩の積み重ね 3. 一歩先から 4. 一歩から

問7 「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の意味はどれですか？

1. 準備をしっかりすれば失敗することはない 2. 危険を冒さなければ、大きな成果は得られない 3. 虎の子供はとても可愛いということ 4. 危険な場所には決して近づいてはいけない

問8 「覆水盆に返らず」の意味はどれですか？

1. 水は高いところから低いところへ流れる 2. 一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない 3. 失敗してもやり直せば成功する 4. 一度決めたことは最後までやり遂げるべきだ

問9 「類は友を呼ぶ」の意味はどれですか？

1. 似た者同士は自然と集まりやすい 2. 類を見ないほど素晴らしい友人を持つこと 3. 友達は自分とは違うタイプが良い 4. 友達をたくさん作ると良いことがある

問10 「花より」に続く言葉はどれですか？

1. 実 2. 景色 3. 餅 4. 団子

問11 「光陰矢のごとし」の意味はどれですか？

1. 月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと 2. 時間は矢のようにまっすぐ進むものだということ 3. 光と影のように時間はあっという間に過ぎること 4. 光のように速く走れば矢に当たらないこと

問12 「情けは人の」に続く言葉はどれですか？

1. ためをなす 2. ためになる 3. ためを思う 4. ためならず

問13 「泣きっ面に蜂」の意味はどれですか？

1. 泣いている顔に蜂がとまってさらに泣くこと 2. 不運なことが重なって、さらに悪い状態になること 3. 悪いことが起きた時に蜂が助けてくれること 4. 泣いている時に蜂に刺されて驚くこと

問14 「百聞は一見に」に続く言葉はどれですか？

1. とどかず 2. かなわず 3. しかず 4. およばず

問15 「頭隠して尻隠さず」の意味はどれですか？

1. 尻を隠すために頭を出すこと 2. 隠れ場所がなくて困っている様子 3. 悪事や欠点の一部を隠したつもりで、全体が隠れていないこと 4. 頭を隠せば体全体が隠れると思っていること

問16 「月夜に（ ）」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. ろうそく 2. 提灯 3. あかり 4. 懐中電灯

問17 「井の中の蛙」に続く言葉はどれですか？

1. 水の深さを知らず 2. 大海を知らず 3. 外の世界を知らず 4. 空の広さを知らず

問18 「能ある（ ）は爪を隠す」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 隼 2. 鷹 3. 鷲 4. 鷺

答え合わせ・解説

問1	答え 1 落ちる	「猿も木から落ちる」の続きは「落ちる」です。意味は「その道に優れた名人でも、時に失敗することがある」です。
問2	答え 4 災い	「口は災いの元」の「災い」の部分が入ります。意味は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」です。
問3	答え 2 五分の魂	「一寸の虫にも五分の魂」の続きは「五分の魂」です。意味は「どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけない」です。
問4	答え 4 急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い	「急がば回れ」は「急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い」という意味です。
問5	答え 3 苦し	「良薬は口に苦し」の続きは「苦し」です。意味は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」です。
問6	答え 4 一歩から	「千里の道も一歩から」の続きは「一歩から」です。意味は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」です。
問7	答え 2 危険を冒さなければ、大きな成果は得られない	「虎穴に入らずんば虎子を得ず」は「危険を冒さなければ、大きな成果は得られない」という意味です。
問8	答え 2 一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない	「覆水盆に返らず」は「一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない」という意味です。
問9	答え 1 似た者同士は自然と集まりやすい	「類は友を呼ぶ」は「似た者同士は自然と集まりやすい」という意味です。
問10	答え 4 団子	「花より団子」の続きは「団子」です。意味は「風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること」です。
問11	答え 1 月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと	「光陰矢のごとし」は「月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと」という意味です。
問12	答え 4 ためならず	「情けは人のためならず」の続きは「ためならず」です。意味は「人に親切にすれば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくる」です。
問13	答え 2 不運なことが重なって、さらに悪い状態になること	「泣き面に蜂」は「不運なことが重なって、さらに悪い状態になること」という意味です。
問14	答え 3 しかず	「百聞は一見にしかず」の続きは「しかず」です。意味は「人から何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうが確かである」です。
問15	答え 3 悪事や欠点の一部を隠したつもりで、全体が隠れていないこと	「頭隠して尻隠さず」は「悪事や欠点の一部を隠したつもりで、全体が隠れていないこと」という意味です。
問16	答え 2 提灯	「月夜に提灯」の「提灯」の部分が入ります。意味は「明るい月夜に提灯を下げてても無駄であるように、不必要なことのたとえ」です。
問17	答え 2 大海を知らず	「井の中の蛙大海を知らず」の続きは「大海を知らず」です。意味は「狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる」です。
問18	答え 2 鷹	「能ある鷹は爪を隠す」の「鷹」の部分が入ります。意味は「実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと」です。